

## 教員推薦図書 2026年5月

推薦教員	経営学科 樋口 徹 先生	<b>【推薦コメント】</b> 私たちの当たり前の日常は、電気や水道、通信などのインフラに支えられています。しかし台風や地震が多い日本では、災害によってこの当たり前が突然奪われることが少なくありません。さらにグローバル化が進む現代では、国内外の様々な出来事が私たちの生活環境に大きな影響を与えます。 そのような時に、私たちの「暮らしと環境を守る」ために欠かせないのが、被害から素早くしなやかに立ち直る力＝「レジリエンス」です。自分たちの生活基盤をどう守り抜くのか、ぜひ身近なテーマとして本書で知識を深めてみてください。
書名	インフラ・レジリエンス ～暮らしと環境を守るために～	
著者名	草薙真一・橋本悟 編著	
出版社	中央経済社	
請求記号	335.8    Kus	
資料ID	901131306	
概要	<p>本書は、災害発生時に各インフラがどのように対応し、私たちの暮らしを回復させるのかを分野別に分かりやすく解説しています。</p> <p>・被害の連鎖を防ぐ基礎知識（第1～3章）</p> <p>インフラの維持を担う公益事業者の役割を解説しています。また、気候変動による災害リスクに対し、地域の「脆弱性」を改善して被害を抑える方法や、一つの被害が社会全体を麻痺させる「インフラの連鎖的崩壊」の怖さについて学べます。</p> <p>・命をつなぐライフライン（第4～7章）</p> <p>生活に不可欠な電気・ガス・水道の巨大ネットワークと、その復旧体制を紹介しています。新しい電力供給の形である「分散電源」への期待や、断水時に自分の命を守るための「自助（自ら水を確保すること）」の重要性についても触れています。</p> <p>・情報ネットワークの死守（第8章）</p> <p>現代社会の基盤である通信網について解説しています。災害時の致命的な情報不足を防ぐため、民間事業者の取り組みだけでなく、国や自治体によるサポートがいかに重要かを説明されています。</p> <p>・物流・交通ネットワークの最前線（第9～13章）</p> <p>避難所へ確実に物資を届ける「ラストマイル」の物流や、鉄道・航空・内航海運といった交通インフラの災害対策を紹介しています。一方で、トラックのドライバーや船員の不足といった、平常時からの深刻な社会課題にも切り込んでいます。</p>	